



年頭にあたって

会長代行 蛭子政喜



会員の皆様、あけましておめでとうございます。皆さまのご協力で会の活動も順調に推移していると思います。

今年も例会などで会員講話を中心に互いに切磋琢磨し目標会員 50 名をめざしましょう。金沢龍馬会の皆様方の益々のご清栄と更なるご活躍をご祈念申し上げます。

《一里野温泉 月見会》

日時：11月18日（土）

場所：一里野高原ホテル ろあん

冬がそこまで来ている 11 月 18 日（土曜日）、冷たい雨が降る中をスキー場の前にある一里野温泉「ろあん」に向かい少し季節外れの月見会を実施、17名の男女会員が勇躍さんかしました。

参加者：蛭子/小屋/中川/中田俊/佐藤/守山/吉田/中城/寺元/朝日/周藤/北川/小幡/中田文/池田/新谷/永崎、17名

「ろあん」に到着後、早速温泉に浸かりました。露天風呂もありポッカポッカ、体の芯から温まりました。

引き続き「ろあん」のオーナーにして龍馬会会員である山崎太一朗氏の講演「龍馬と温泉」が始まりました。

内容としては農業の話でした。

「食糧増産の時代に必要悪であった農業が昨今各分野で問題を起こしている。

また JA の仕組みにより日本の農業はがんじがらめの状態に陥っている。農業も多量に使わざるを得なくなっている。

更に遺伝子組み換え食品の脅威が目前に迫っている。それに対し最近は色々な取り組みが開始されている。

山崎氏は『JA はくい』が主催する『のと里山農業塾』に参加し啓発され無農薬・無肥料による『自然栽培』に取り組み始めている」という主旨でした。

その後交流会に移り「ジビエ料理」を頂戴しました。その中で山崎氏が提起した「自然栽培」や「農業」に関し、農業従事者、化学メーカー関係者、一言者より各種意見が出て大激論となりました。

金沢龍馬会会員がこれだけ「農業問題」に精通しているとは！

まさに喧々諤々の素晴らしい意見発表の場となりこのような金沢龍馬会例会は始めてだ！と良かったヨカッタの声が沸き起こりました。

農業問題でこのように議論が白熱するとは！最高の金沢龍馬会靈感だったことをご報告いたします。山崎氏に感謝感激です。紙上を借りて御礼申し上げます。

【花見会のお知らせ】



日時 4月7日（土）

場所 未定

【会員のつづやき】

“日本一遅い新幹線”

土佐在住 武内 紘一さん



龍馬脱藩の道にほど近く、いまだに国道と酷道が同義語の四国の山あい、定時になるとディーゼルエンジンの音がのどかに聞こえ、やがて「日本一遅い新幹線」が一両編成の健気な姿を現わします。

初代0系を模す予土線ホビートレインは、四万十川中流域を各駅停車で若井、大正、昭和、を経て、

四国各地に点在する源平合戦後の平家落人集落のひとつ、半家に到着です。

平家を暗号化した、普段は静かな半家地域の秋祭りは、感謝と祈りの勇壮な太刀踊りが四万十川の水面に響きます。

急げない旅、窓際のカップをなめて沈下橋をパチリ、シャッターを切ります。



まるわかり「龍馬入門講座」 ⑪

これは2010年NHKテレビで放映された大河ドラマ「龍馬伝」が始まる前、坂本龍馬を紹介する為長崎国際観光コンベンション協会が作ったパワーポイントです。今回連載に際し吉田が若干編集しました。(本掲載は金沢龍馬会内部のみです)

23、海援隊の理念は「海援隊約規」に明文化されています。

第一条に「本藩(土佐藩)。他藩を脱するもの海外の志のある者、この隊に入る。運輸・射利、開拓、投機、本藩の応援を成すをもって主とす。

今後自他に論なくその志に従って選んでこれに入る」とあり藩や身分制度の枠を超えた近代的理念を先取りした龍馬らの理想が反映されています

第二条には「隊中のこと一切隊長の処分に任す会員の皆様にご報告させていただきます。

」と隊長の権限を。

第三条は隊士の相互扶助に関する規律。近藤長次郎の事件を背景にしてか、隊の結束を強める姿勢がうかがえます。

第四条には修行項目として、政法、火技、航海、汽機、語学などを明記。「その志に従ってこれを取り、互いにあい勉勵、あえてあるいは怠る事なかれ」とし、隊士の個性に応じた修行を重んじています。

第五条には、隊の経費は営業利益でまかなう独立採算とし、不足した場合は土佐藩に援助を求める契約が定められています。

海援隊は神戸海軍操練所、亀山社中の精神を受け継ぎながら、学問の研究としての性格を強めていきました。

海援隊本部は土佐商会にも近い小曾根家別邸に置かれ活動していました。

土佐商会の経営をまかされていた岩崎弥太郎の日記には、海援隊への資金融通などが記され、隊士には月5両が支給され、当時の留学者に与えられていた公費に相当する金額と推定されます。

海援隊はわずか一年足らずで消滅しましたが、その名を歴史に刻んでいます。

【中田会員が日展に入選！！】

昨年の秋10月23日「改組新第4回日展」の入選者が発表されました。

何と嬉しいことに私たち金沢龍馬会会員のひとり「中田俊郎(中田聰山)さん」が書の部「篆刻」

で入選！！という快挙を成し遂げられました。

全く嬉しいかぎりです。



芸術家が多い金沢龍馬会ですが、金沢龍馬会理事で書道家にして篆刻家である中田俊郎さんが、この度「日展」書の部で入選されました。

龍馬会の世界とは違いますが「書」の世界で【日展入選作家】となられた事に敬意を

表します。大変名誉なことと同時におめでとうございます。

東京での日展会期は、昨年11月3日(金)～12月10日(日)六本木の国立新美術館で開催され、その後各地を巡回し、今年の予定では金沢が5月26日～6月17日石川県美術館で開催される予定です。

あくまでも予定ですが「金沢龍馬会総会」の時期ですので総会の前の時間をたっぷりとしてエクスカージョンとして日展鑑賞をしたいと存じます。中田さんが作品解説をしてくださるそうです。

龍馬の書の解説も同時に行っていただけたらか。何とも嬉しい限り、この快挙を皆さまにご報告いたします。

☆新会員 107番 東寿郎さん 108 中出一嗣さん
109番 那波真治さん 110番 橋場弘行さん

【編集後記】

皆さま、今年も宜しくお祈りします。心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。これからもご指導ご鞭撻をいただきながら楽しい会報作りを目指したいと思っています。愉しみいっぱいです。会報も第14号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

***** 事務局*****

金沢龍馬会

会長代行：蛭子政喜

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ

<http://kanazawa-ryomakai.com/>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai?sk=wall&filter=2>

